
【ケアプロ通信 vol.40】3 月度:アショカ・ジャパンと共同でイベントを催します

平素より、お世話になっております。

すっかり春の陽気ですね。
ケアプロの本社は中野にあります。
中野駅周辺では『桃』という地名や施設をよくみかけます。
以前、中野は『桃園町』という地名だったそうです。
桜の木の隣に、桃の木があったり、名残が残っているところもあります。
週末には、桜も満開ですね。
夜のお花見にはぜひ暖かい服装でいらして、風邪などひかないようお気をつけください。

それでは、3 月度のニュースをお届けいたします。



▼代表 川添高志からのメッセージ

こんにちは、川添です。

3月も終わり、4月になりますね。
出会いと別れの季節です。

私も、ケアプロを通じて、様々な企業や行政、マスコミの方々と出会い、
その方々との「出会いがなければ、世界は変えられない」と痛感しています。

4月20日には、アショカ・ジャパンと共同で、下記のイベントを催します。

■「企業が世界を変える: Every Company - A- Changemaker」キャンペーン第3弾■

「防げる病気は自分で防ぐ」というカルチャーを浸透させる CSO(市民組織)と大企業のコラボレーション
Carepro × 小田急電鉄/セブン&アイ・ホールディングス

イベント詳細ページ <http://japan.ashoka.org/node/2553>

ASHOKA JAPAN 日本
INVESTING IN NEW SOLUTIONS FOR OUR WORLD'S TOUGHEST PROBLEMS

アショカ アショカ・フェロー 活動内容 参加する ニュース&プレスリリース

ホーム > ASHOKAJAPAN the 10th Fellow Speaker Series 第10回アショカジャパン・フェロー・スピーカー・カーシリーズ

ASHOKAJAPAN the 10th Fellow Speaker Series 第10回アショカジャパン・フェロー・スピーカー・カーシリーズ

企業が世界を変える: Every Company - A- Changemaker
キャンペーン第3弾

Carepro × 小田急電鉄
セブン&アイ・ホールディングス

「防げる病気は自分で防ぐ」
というカルチャーを浸透させる CSO(市民組織)と
大企業のコラボレーション

「企業が世界を変える: Every Company - A- Changemaker」キャンペーン第3弾 Carepro × 小田急電鉄/セブン&アイ・ホールディングス「防げる病気は自分で防ぐ」というカルチャーを浸透させるCSO(市民組織)と大企業のコラボレーション

健康ケアでオンライン健診(病名称:セルフ健康チェック)をはじめとする最先端イノベーションを生み出した「障害志願するケアプロ株式会社は、大企業との協働により、ケアプロだけでは見えない大きなインパクトを生み出しています。今回は、パートナー企業である小田急電鉄株式会社の三宅指司氏と株式会社セブン&アイHLDGSの渡嶋一夫氏を交えて、日本での企業のチェンジメーカーとしての役割、CSO(市民組織)との協働で社会を刷新する可能性などに焦点を当てて、対話を展開します。

皆様におかれましても、
2016年度、どのような出会いがあるでしょうか？
どのように世界は変わっていくのでしょうか？

▼予防医療事業部より3月度進捗のお知らせ

■今年もアクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI に出張しました！

今回で4回目の実施になりますが、今回も3日間で1500人以上の方々に御利用
頂くことが出来ました。宮崎の方が毎年楽しみにして下さっており、
ケアプロ健康サイクルをまわすことに寄与できていることを実感することが出来ました。

(参考)

<http://www.umk.co.jp/axaladies/event/index.html>

▼在宅医療事業部より3月度進捗のお知らせ

ケアプロでは地方創生の一環として、
島根県雲南市で新設ステーションの支援を担当させて頂きましたが、
3月に年度末の報告を致しました。

地域の多職種の方からの評価も上がってきたようで、嬉しいことに単月黒字も達成！
新人が入ってくる来年度への弾みとなりそうです。

来年度の関わりがどうなるかはまだわかりませんが、ずっと応援し続けていきたいと思いを
がんばれ、訪問看護ステーションコミケア！

▼国際医療事業部より3月度進捗のお知らせ

◆経済産業省補助事業最終報告会無事終えました◆

去る3月17日に平成27年度医療技術サービス拠点化促進事業の
最終報告会を無事終えることができました！
当日会場には沢山の方にお越し頂き、また川添のプレゼン後には、
質問受付ブースへも多くの方にお立ち寄りいただけました。
最終報告書は公開版が事務局のWebsiteより公表されるかと存じますので、
その際にまた改めてご連絡させていただきます。

引き続き皆様に発信できるよう精進して参りますので、
宜しく願い申し上げます！